

5月度例会 個人		山行報告書		報告者	油井 武	参加 メンバー	CL:佐溝直彦 SL:油井 武。浜島弘一、塚本英吾、 不破孝浩、青山武、岩崎 芳彦、上田正博*****	
山城		北小野 (塩尻市)	山行日	2014年 5月 19日 (月)	報告日			5 / 24
山名		霧訪山 1305M						

山行目的	新緑の山と眺望を楽しむ ****	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図:

天候: 晴, 気温 10~16°C
コースタイム
蓼科山荘発 8:00
神ノ山自然園 P=9:15
同駐車場発=9:30
霧訪山登山口=9:45
東電#34 鉄塔=10:17
ブナの分岐=11:00
霧訪山山頂=11:27
” 大休止~12:00
ブナの分岐~12:10
#34 鉄塔=12:32
神ノ山自然園着=13:00
同駐車場発=13:10
箕輪ながたの湯着 13:48
同上発=15:00
刈谷年金会館着 17:45
(霧訪山は霧父さんと読む=キリトウサン)



〈山行報告〉 標高 1460m の高原の宿は、旧交を温める思い出深い一夜となった。そのトヨタ車体蓼科山荘前で集合写真を撮り、同行 8 人は車 2 台に分乗し 8 時に宿を出た。新緑のカラマツ林を抜け蓼科湖に近い聖光寺の桜は既に緑深く風にそよいでいた。諏訪 IC から高速に乗り塩尻 IC で降り、市内を抜け JR 中央本線の中西条の大曲り軌道の、踏切を渡ると林道になりじきに目的地、神ノ山自然園に着いた。体操を入念に行い登山開始。およそ 10 分車道を歩くと左に、たまらずの池 (堰堤) があり、その上辺りで左に折れ、水の涸れた小川をわたると約 50m で右に霧訪山登山口の看板があり、いよいよ、そま路となる。朝日に映えた赤松の林を抜けシジュウカラの囀りを聞きながら、ピッチ 30 でゆっくりとすすむ。16°C なのに、なぜか無性に口が渴くのは、昨夜の良薬のせいかな。ミツバツツジの満開の群落が道沿いに幾か所もつづき、のどの渴きを癒やしてくれる。そろそろ水分補給と思っているうちに、#34 鉄塔下に到着し、一本目の休憩をとる。標高 1025m。そこからはヒノキの根っこはあるが、歩きやすい尾根道だ。ブナノ分岐の看板へ到着二本目。左へ往くと大芝山、右へ針路をとり頂上を目指す。急坂 (男坂) を登りきると左へ進み、そこから 10 分で頂上に到着した。頂上にはオキナグサがふた株さいており、カメラの的になってやや疲れぎみで、うつむきかげん。頂上からの眺めはずばらしく、昨日登った北横岳はもとより、八ヶ岳全部、北アルプス、御岳、中央アのうつぎ岳の一部、南

アの甲斐駒、北岳、千丈岳など、よく見えた。松本山岳会の方に今年は爺岳の種まき爺さんが良く見えるとその方角や形を懇切丁寧に教えてもらった。目を凝らすと頂上付近に二人の爺さんの種まき姿がくっきりと確認できたのは、望外の喜びであった。約 30 分休憩をとり景色を堪能し、下山にかかった。途中女坂辺りに、鋭く尖った小石が沢山あるのを発見し、石器時代の矢尻を連想しつつ、また塩尻市の博物館に想をつな



〈リーダー所見〉 狙い通りに、新緑・眺望を楽しめたので、満足な山行でした。紅葉の時期にまた来てみたい山です。



確認
(リーダー)
佐
26/5/28
溝
作成
(報告者)
油
26/5/24
井

写真は上からミツバツツジ、オキナグサ、登頂記念 (不破孝浩氏撮影)